

「手紙の利用促進プロジェクト」について

■ 2016年7月より、学部の垣根を超えた総勢21名の学生が参加！

手紙の利用促進プロジェクトは、明治大学の法・商・政経・文・理工・農・情報コミュニケーション・経営・国際日本学部・総合数理学部などの学部から総勢21名の学生（男7名、女14名）が参加しています。

■ 発表する新商品は、12月より順次発売開始予定

新商品発表会でお披露目する「新商品」はさまざまな販売店舗で順次発売予定です。

■ 販売促進ツールデザインなども企画

商品だけでなく、新商品の認知を最大化するためのロゴマークをはじめとした販促ツールデザインなどの販促企画も参加学生主導で検討、店舗での展開を予定しています。

■ 実施スキームとこれまでの取り組み



明治大学学生



法学部・商学部・政経学部・文学部などの学部から参加した21名

指導教授
(明治大学教員)



左：吉田悦志 副学長・国際日本学部教授（日本文学）
右：大友純 商学部教授（マーケティング）

協力



- ・観光を通じたまちづくりに寄与する人財の育成及び活用
- ・千代田区地域での情報発信、広報周知拡大への協力



2016年7月

市場環境分析、リサーチ、ツール・オケージョンのアイデア出しなどの企画立案、プレゼンテーション資料の作成、プレゼンテーション方法の考案等

2016年8月

アイデア出し及びディスカッションの場として、夏合宿を実施（明治大学学内にて実施）

2016年9月

最終報告会にてツールやオケージョンのアイデアについてチームごとにプレゼンテーションを実施
商品開発等実現に向けた取組を実施

2016年10月

アイデアをもとに販売店舗交渉